



ともしび

— TO MO SI BI — 第341号

2024(令和6)年9月号

暦の上では秋ですが…

みなさんこんにちは。

九月は、二十四節気で言うところの「白露」「秋分」など、秋の訪れを予感させる季節とされています。ただ、最近はまだまだ暑い日が続いているので、秋という感じではないかもしれませんね。

さて、九月と聞いて頭に浮かぶことの一つに「中秋の名月(十五夜)」があります。中秋とは、旧暦の八月十五日を指します。旧暦では七、九月を秋としていたため、八月十五日(現在の九月中旬ごろ)がちょうど秋の真ん中になるのです。またその頃は一年を通して最も月が美しい時期であるとされたことから、平安時代の貴族たちは、中秋の名月に月を眺めて和歌を詠む「観月の宴」を開いて

楽しみました。

月は季節にかかわらずいつでも見られるのに、なぜ昔から秋の月は美しいといわれるのでしょうか。それは、秋の空気と月の適度な高さの関係していると言われると思います。秋の空気は、水分量が春や夏に比べて少なく乾燥してきます。そのため、澄んだ空気が月をくっきりと夜空に映し出すのだそう。

また、月は冬に近づくほど空の高い位置を通り、夏は低い位置を通る。春は地上の埃などで月本来の明るさが霞んでしまう。そのため、空気の水分量、大気の状態や月の高さなど、月が最も美しく見える条件が揃う秋こそ、月見にふさわしいといわれてきたのです。ちなみに、今年の中秋の名月は九月十七日だそうです。月といえば、親鸞聖人の師匠に当たる法然上人は「月影の、いた

らぬ里はなけれども、ながむる人のころにぞすむ」という句を詠まれています。

月影とは月の光のことですが、ここでは阿弥陀如来の慈悲の光を表しています。「阿弥陀如来の慈悲の光は、あまねく一切の人々を照らしてくれるが、その光をながめなければ、お慈悲に気づくことが出来ない。」という意味です。

中秋の名月が、どんなに素晴らしいといっても、それを感じることをできるのは月を見た人だけです。それと同じように、阿弥陀如来の慈悲の光がどんなに素晴らしい働きをもっているとしても、その光が私に至り届いていることを知らなければ、そのことに気づけません。

今年の中秋の名月を眺めるときには、そんなことを思いながら過ごしてみたいかがでしょう。

8月の東久留米分院の様子

境内清掃奉仕

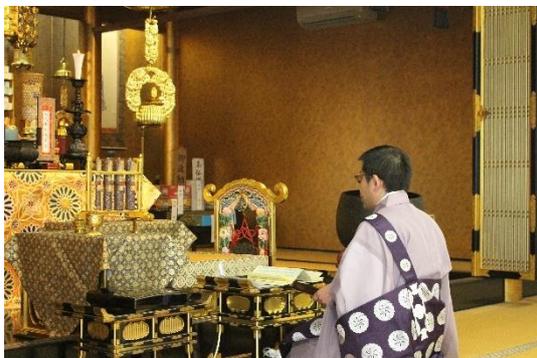
8月4日(日) 午前8時～

当日は6名の方が参加してくださいました。熱中症の心配もありましたので短時間で行っていただきました。暑いなか、本当にありがとうございました m(_ _)m

盂蘭盆会・総永代経法要・納涼会

8月11日(日) 午後1時～ 法話:小野島良顕 師(東京都 稱福寺)

故人を偲ぶ大切な法要ということで、当日は33名の方が参拝されました。小野島先生は、盂蘭盆会の起源や身近な話題を題材にお話くださり、「参拝して良かった」との声も多数いただきました。法要の後の納涼会には小野島先生にもご参加いただき、皆、大変有意義な時間を過ごしたようです。



法要の様子



お預かりした過去帳は仏様の前に



講師の小野島先生



8月がお誕生日の方々と

その他のお知らせ

東久留米分院より

【東久留米分院 秋季彼岸会について】

- 秋季彼岸会とは、「秋のお彼岸の」の正式名称で、「しゅうき ひがんえ」と読みます。会(え)とは法要のことを指します。
- 今年の東久留米分院秋季彼岸会は9月23日(月・祝)の午後1時から行います。亡き人を偲びつつ、一緒にお参りしませんか？
- どなたでも参拝いただけますので、皆様のご参拝をお待ちしております。
- 過去帳を持参くだされば、本堂の仏さまの前に置いてお勤めいたします。

東久留米分院 主管 伊藤法友



東久留米分院の 行事案内

—Schedule—

▶ 9月の行事予定

境内清掃

9月1日(日) 午前8時頃から

皆さんが気持ちよくお参りできるよう、毎月第1日曜に行っていますが、まだまだ人数が足りません！皆様のご協力をお待ちしています！

秋季彼岸会

9月23日(月祝) 午後1時～

ご講師：大中 真慶師(栃木県 法得寺)

過去帳をご持参くだされば、阿弥陀様の前に置いてお勤めします。是非ご参加ください。

▶ 10月の行事予定

常例法座

10月13日(日) 午後1時～

ご講師：荒木 尚太 師(東京都 浄雲寺)

仏さまのお話を分かりやすくお話しくさいます。是非ご参拝ください。

お経の読み方(お勤め)を学ぼう！

10月13日(日) 常例法座引続き

いつも読んでいるお経、本当にこれで良いの？と不安な方、全然読めないから読めるようになりたい！という方、是非ご参加ください。

東久留米会館会報「ともしび」
通 刊 341号
発行日 2024年9月1日
発行者 伊藤 法友
住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電 話 042-474-6787

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。
暑い日はピークを過ぎたようですが、暑い日は、まだ続いています。先日始まったパラリンピック。パリ大会では今日も熱い戦いが繰り広げられています。懸命に競技に挑む選手たちの姿を見て、自分はこのなかに懸命に日々を送っているだろうかと自らを振り返る貴重な機会になっています。皆さんはどうですか？

先月のご進納

【お仏飯米】

才野木康雄様 浅野由美様
西 ユリ子様

【飲料等】

神谷正弘様 熊谷武様
山下肇様 (順不同)

誠にありがとうございます。